

カノコソウ・シャクヤクの 国内生産拡大に向けた取組み

～薬用作物の国内生産拡大へ向けて～



令和5年度 薬用作物産地支援栽培技術研修会
薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会
合同開催

薬用作物産地支援協議会

日本漢方生薬製剤協会 生薬委員会 生薬国内生産検討班

漢方薬とは？

需要は？

漢方医学の流れ



- 「漢方医学」は、中国起源の医学を基に、日本で独自の発展を遂げた伝統医学。
- 中医学、韓医学は、起源は同じだが、異なった医学体系を形成している。
- 江戸中期に伝来したオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対して、従来の日本の伝統医学を「漢方」と呼ぶようになった。

漢方薬の原料となる生薬

植物の花、葉、茎、根



- 人參 (朝鮮人參)
- 蘇葉 (シソ)
- 乾姜 (ショウガ) など

樹木の樹皮、果皮



- 山椒 (サンショウの実)
- 陳皮 (ミカンの皮)
- 桂皮 (シナモン) など

動物由来資源



- 蟬退 (セミの抜け殻)
- 牡蛎 (貝殻)
- 竜骨 (ほ乳類の骨化石) など

鉱物由来資源



- 石膏 (天然石膏) など

生薬の品質を安定化するために・・・ 品質規格について

自社基準 自社規格

日本薬局方の規定以外のの品質管理項目を含む、各社独自の品質規格/基準

・管理指標成分・基原の限定など

日本薬局方/日本薬局方外生薬規格

- ・生薬の基原種
- ・性状（外部および内部形態・色・味・臭い）
- ・確認試験　・純度試験　・乾燥減量　・灰分
- ・酸不溶性灰分　・エキス含量　など



漢方・生薬製剤の一例

医療用医薬品

OTC医薬品

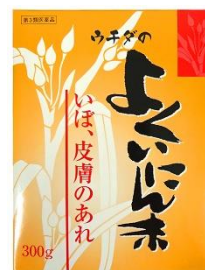
医療用漢方製剤
(主にエキス剤)

薬局製剤用生薬
医療用生薬

一般用漢方製剤
(エキス・丸剤など)

民間薬

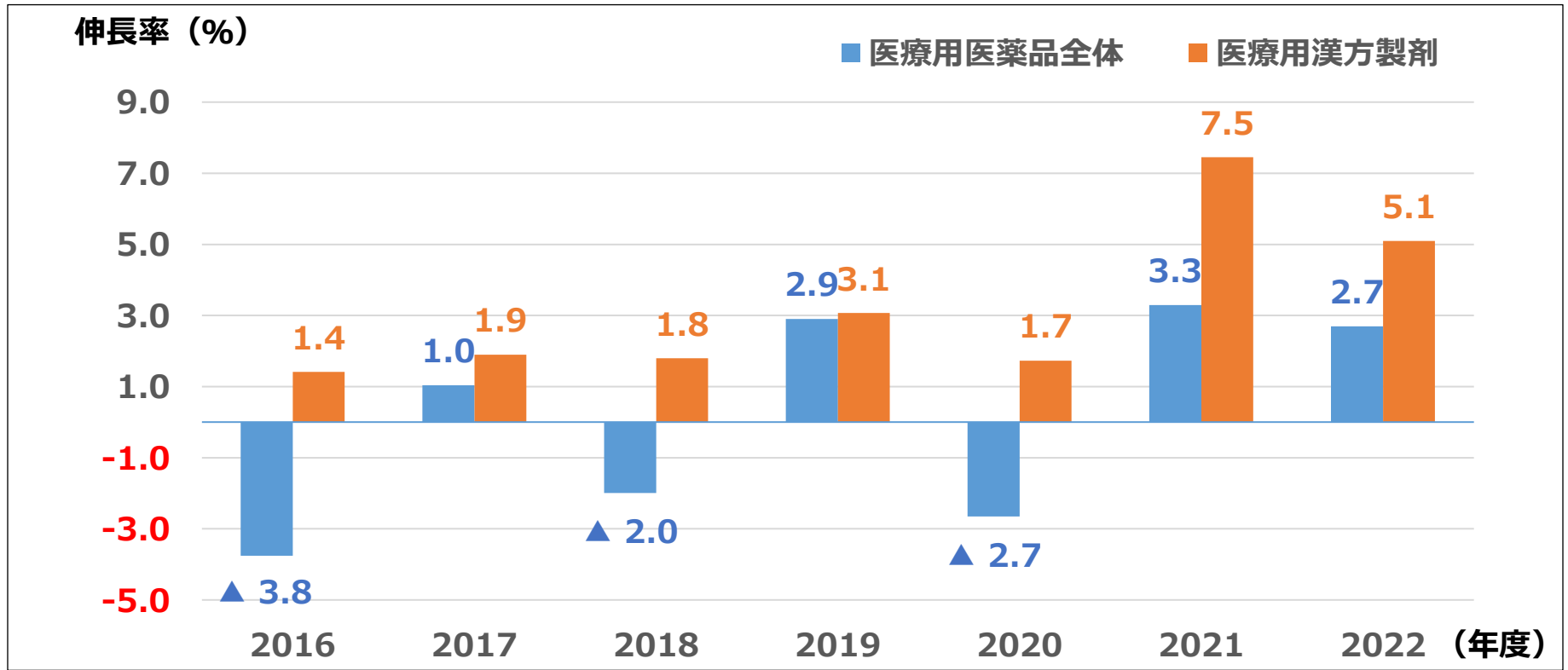
家伝薬



生薬配合製剤

医療用漢方製剤の需要と 漢方生薬製剤の原料の需要

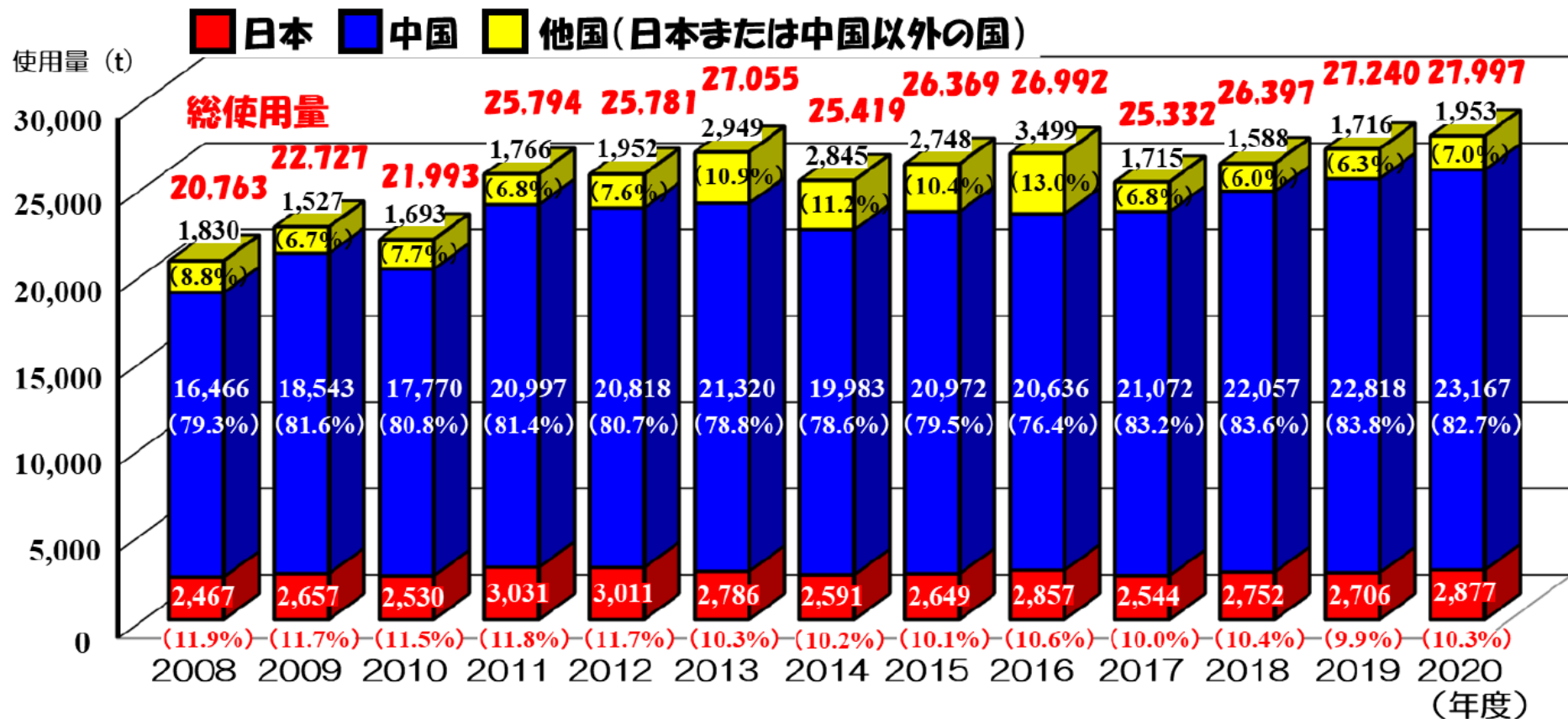
国内医療用医薬品市場と漢方市場の推移（売上ベース）



市場規模 (億円)	104,308	105,393	103,293	106,294	103,476	106,887	109,729
	1,481	1,509	1,536	1,583	1,610	1,730	1,819
漢方シェア (%)	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7

Copyright © 2023IQVIA. 「JPM 2015年4月～2023年3月」をもとに独自に集計 無断転載禁止

原料生薬の使用量と生産国（2008-2020年度）



「日本における原料生薬の使用量に関する調査報告(3)」生薬学雑誌77(1), 24-41(2023)

2008～2020年度 全使用量上位20品目

		全使用量(kg)	国内産使用量(kg)	国産比率
	合計(生薬全体)	25,372,768	2,727,504	11%
1	カンゾウ(甘草)	1,620,117	15	0.001%
2	シャクヤク(芍薬)	1,480,265	42,660	3%
3	ブクリョウ(茯苓)	1,473,991	270	0.02%
4	センナジツ(センナ実)	1,187,954		
5	ケイヒ(桂皮)	1,046,739	55	0.005%
6	ハンゲ(半夏)	839,865		
7	タイソウ(大棗)	837,817		
8	トウキ(当帰)	828,010	191,929	23%
9	ソウジュツ(蒼朮)	815,640		
10	コウイ(膠飴)	805,720	805,720	100%
11	ニンジン(人参)	713,872	1,021	0.1%
12	マオウ(麻黄)	619,517		
13	サイコ(柴胡)	580,879	19,444	3%
14	センキュウ(川芎)	536,947	413,363	77%
15	カッコン(葛根)	510,632	27	0.01%
16	ヨクイニン(薏苡仁)	483,189	229	0.05%
17	タクシャ(沢瀉)	470,209		
18	ビャクジュツ(白朮)	469,388		
19	ショウキョウ(生姜)	466,446	380	0.1%
20	ジオウ(地黄)	431,687	2,452	1%

2008～2020年に
使用実績のある生薬は
305種類

※数字は13年間の平均

2008～2020年度 国内産生薬使用量 上位20品目

		国内産生薬使用量(kg)	国産比率
	合計(国内産の生薬全体)	2,727,504	11%
1	コウイ(膠飴)	805,720	100%
2	センキュウ(川芎)	413,363	77%
3	トウキ(当帰)	191,929	23%
4	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	151,449	100%
5	チンピ(陳皮)	125,110	39%
6	コウボク(厚朴)	78,168	41%
7	ボウイ(防已)	75,593	64%
8	クロモジ(黒文字・ウショウ)	74,929	100%
9	コウベイ(粳米)	62,967	60%
10	サンショウ(山椒)	59,114	100%
11	ボレイ(牡蛎)	55,642	61%
12	ブシ(附子)	47,740	42%
13	モクツウ(木通)	46,571	96%
14	ボウショウ(芒硝)	46,355	90%
15	キジツ(枳実)	43,266	44%
16	シャクヤク(芍薬)	42,660	3%
17	アキョウ(阿膠)	42,479	91%
18	ダイオウ(大黄)	31,121	8%
19	オウギ(黄耆)	26,651	8%
20	ショウバク(小麦)	26,141	99%

2008～2020年に
国内産生薬の
使用実績のある生薬は
123種類

※数字は13年間の平均

2015・18・21年度 国内産生薬調達量 上位品目

	生薬名	調達量(kg)
1	センキュウ(川芎)	415,137
2	トウキ(当帰)	223,868
3	チンピ(陳皮)	119,075
4	サンショウ(山椒)	78,157
5	ボウイ(防已)	62,088
6	クロモジ(黒文字・ウショウ)	52,369
7	シャクヤク(芍薬)	43,382
8	コウベイ(粳米)	41,624
9	オウギ(黄耆)	38,600
10	ショウバク(小麦)	34,306
11	モクツウ(木通)	33,977
12	コウボク(厚朴)	33,932
13	キジツ(枳実)	31,968
14	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	27,362
15	ボクソク(撲楸)	22,084
16	ソヨウ(蘇葉)	20,213
17	サイコ(柴胡)	17,252
18	ブシ(附子)	16,343
19	アカメガシワ(赤芽櫛)	16,044
20	バクガ(麦芽)	13,639
21	カノコソウ(吉草根)	13,636

	生薬名	会社数
1	センキュウ(川芎)	13
2	サンショウ(山椒)	11
3	トウキ(当帰)	11
4	シャクヤク(芍薬)	10
5	コウベイ(粳米)	9
6	ガイヨウ(艾葉)	8
7	インチンコウ(茵陳蒿)	6
	サイコ(柴胡)	6
	ショウバク(小麦)	6
	チクセツニンジン(竹節人參)	6
	ドクカツ(独活)	6
12	カノコソウ(吉草根)	5
	チンピ(陳皮)	5
14	キジツ(枳実)	4
	サンヤク(山薬)	4
	シャゼンソウ(車前草)	4
	ジュウヤク(十薬)	4
	センブリ(当薬)	4
	チャヨウ(茶葉)	4
	ナンテンジツ(南天実)	4
	ハトムギ(鳩麦)	4

2015・18・21年度に
調達実績のある品
目は89品目

※調達量の数字は
2015・18・21年度の
平均

※会社数は、重複
算入なし

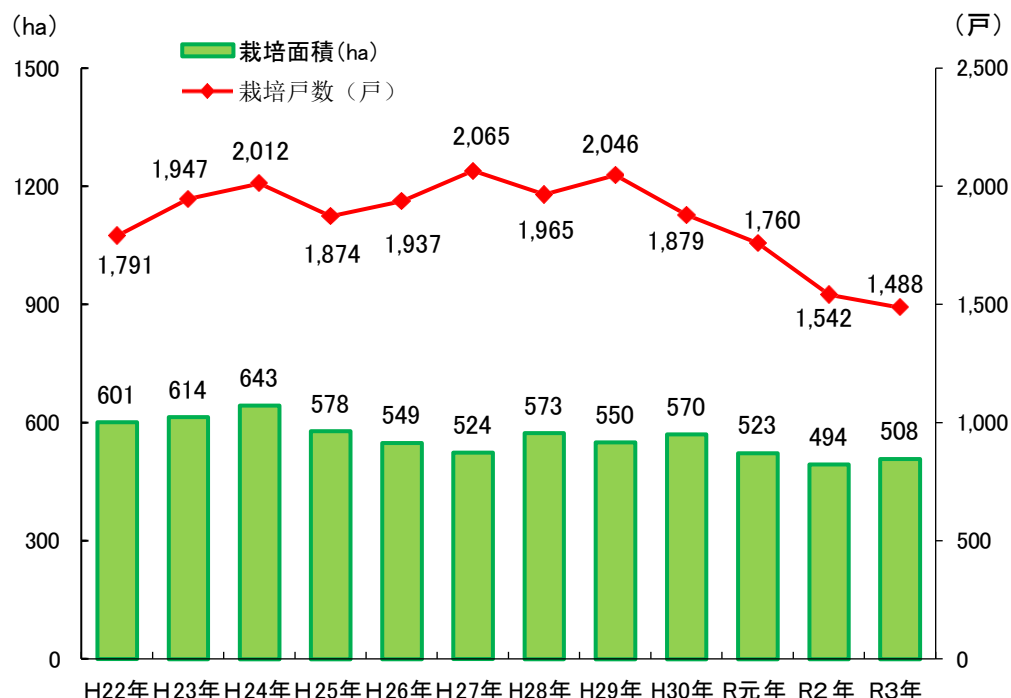
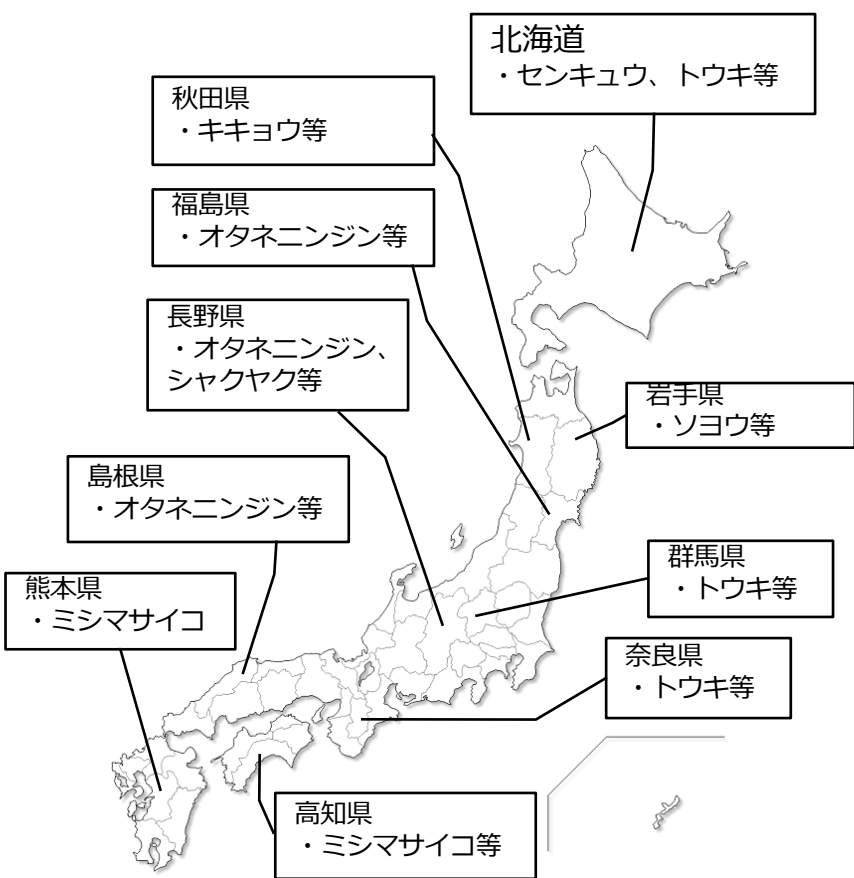
※調達量は、農産
物品目のみ抽出

4 薬用作物の生産状況

- 近年、耕作放棄地の再生利用や中山間地域の活性化に繋がる作物として期待。
- 薬用作物は、北海道から沖縄県に至る全国各地域で生産されており、近年、栽培面積については横ばいで推移しているが、栽培戸数については減少傾向。

【薬用作物の主な産地】

【専ら医薬品（生薬）に用いられる薬用作物の生産の推移】

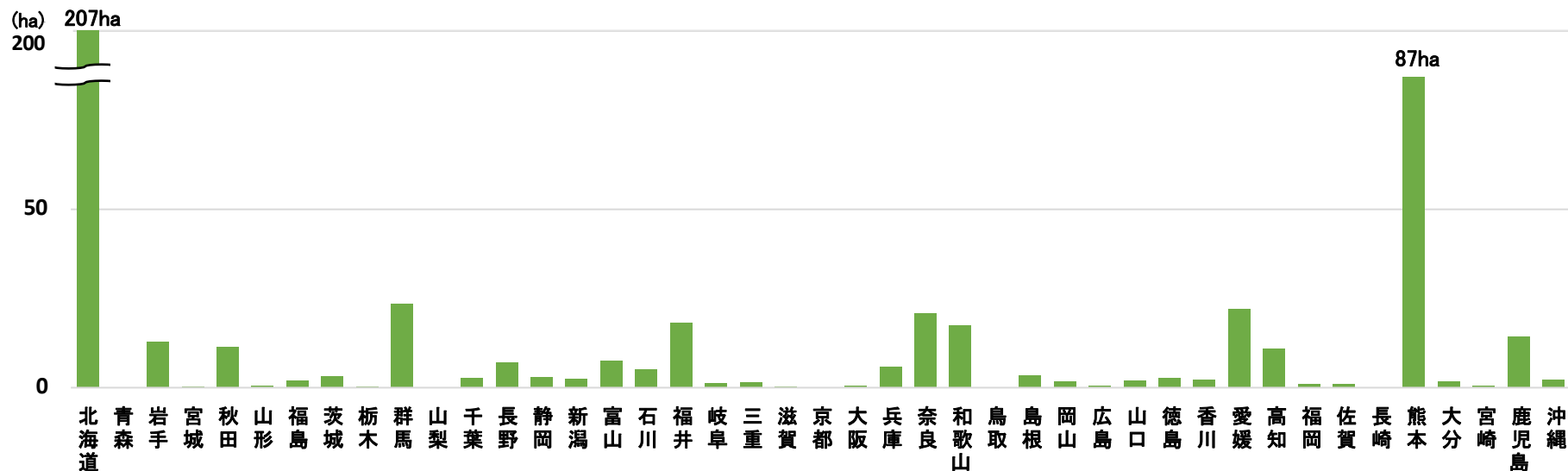


資料：（公財）日本特産農産物協会「地域特産物に関する資料」

注1：本データは、専ら医薬品（生薬）に用いられる薬用作物で集計したものである。
 注2：本データは、調査に協力を得られた都道府県からの聞き取りを元に作成しており、かつ、その都道府県は毎年一定していない。

- 都道府県別には、大手漢方薬企業の生産・加工・保管拠点施設がある北海道の栽培面積が最も大きい。
- 品目別には、栽培期間の短い（1～2年）作物の栽培面積が多い状況。
- 野菜等の他作物との複合経営が多いことや機械化が進んでいないことから、一戸当たり栽培面積は平均34a程度。

【都道府県別の栽培状況（R3年産）】



資料：（公財）日本特産農産物協会「地域特産作物に関する資料」

【栽培上位10作物の栽培面積、農家戸数、一戸当たり栽培面積の状況（R3年産）】

順位	薬用作物名	栽培面積 (ha)	農家数	一戸当たり栽培面積 (a)	栽培年数	国産率 (%)	使用部位
1	ミシマサイコ	134	417	32	1～2	2	根
2	センキュウ	84	52	162	1	74	根茎
3	トウキ	70	284	24	2	24	根
4	トリカブト	46	26	177	1～2	60	塊茎
5	シャクヤク	41	222	19	5	2	根

順位	薬用作物名	栽培面積 (ha)	農家数	一戸当たり栽培面積 (a)	栽培年数	国産率 (%)	使用部位
6	オウギ	25	18	138	1～2	15	根
7	キハダ	23	14	165	15～20	1	樹皮
8	オウレン	18	23	79	6	1	根茎、ひげ根
9	テンダイウヤク	17	1	1,715	5～	0	根
10	ポウフウ	8	41	18	1	0	根茎
全体		508	1488	34			

資料：（公財）日本特産農産物協会「地域特産作物に関する資料」、国産率は日本漢方生薬製剤協会の調査（令和2年度データ）

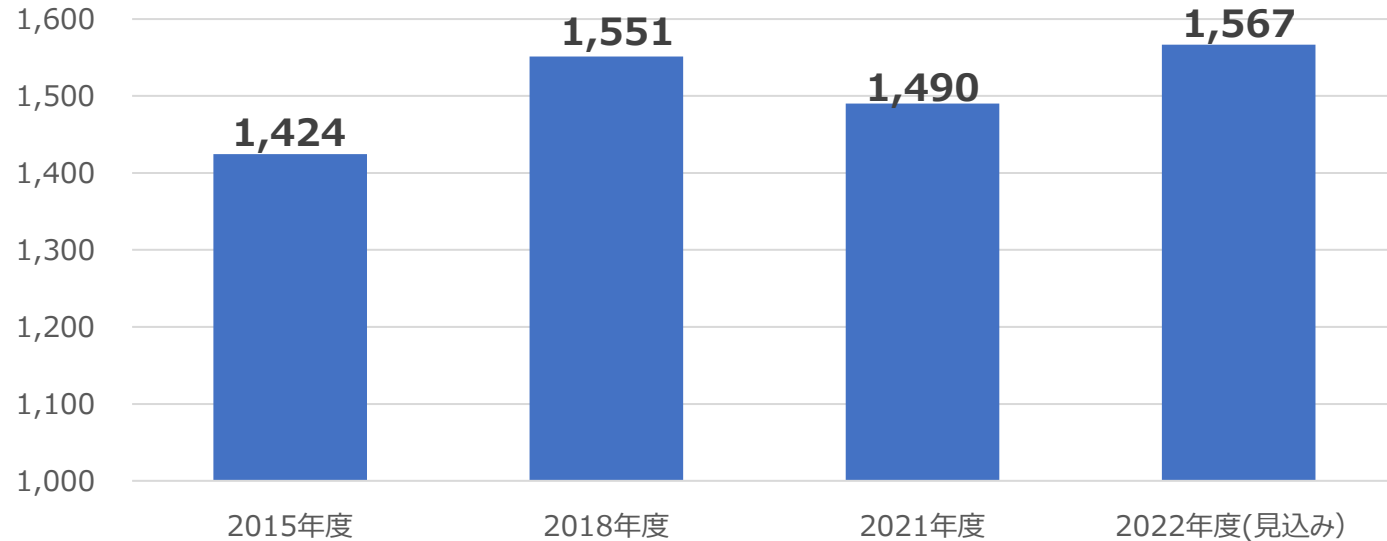
注：医薬品医療機器等法の「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）リスト」に掲載。

国内産生薬調達量推移

2015年度に比べ、2021年度は天候不順などの理由により一旦調達量が下がるが、2022年に回復傾向となっている。

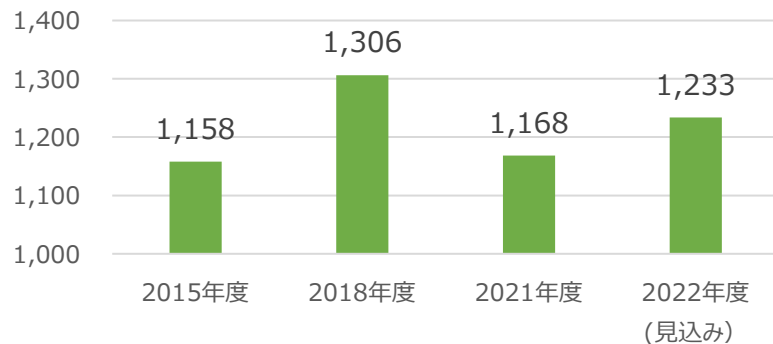
単位：t

国内産生薬調達量全体



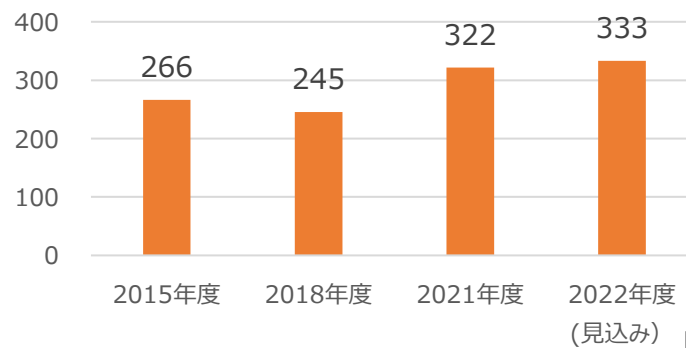
単位：t

農産物



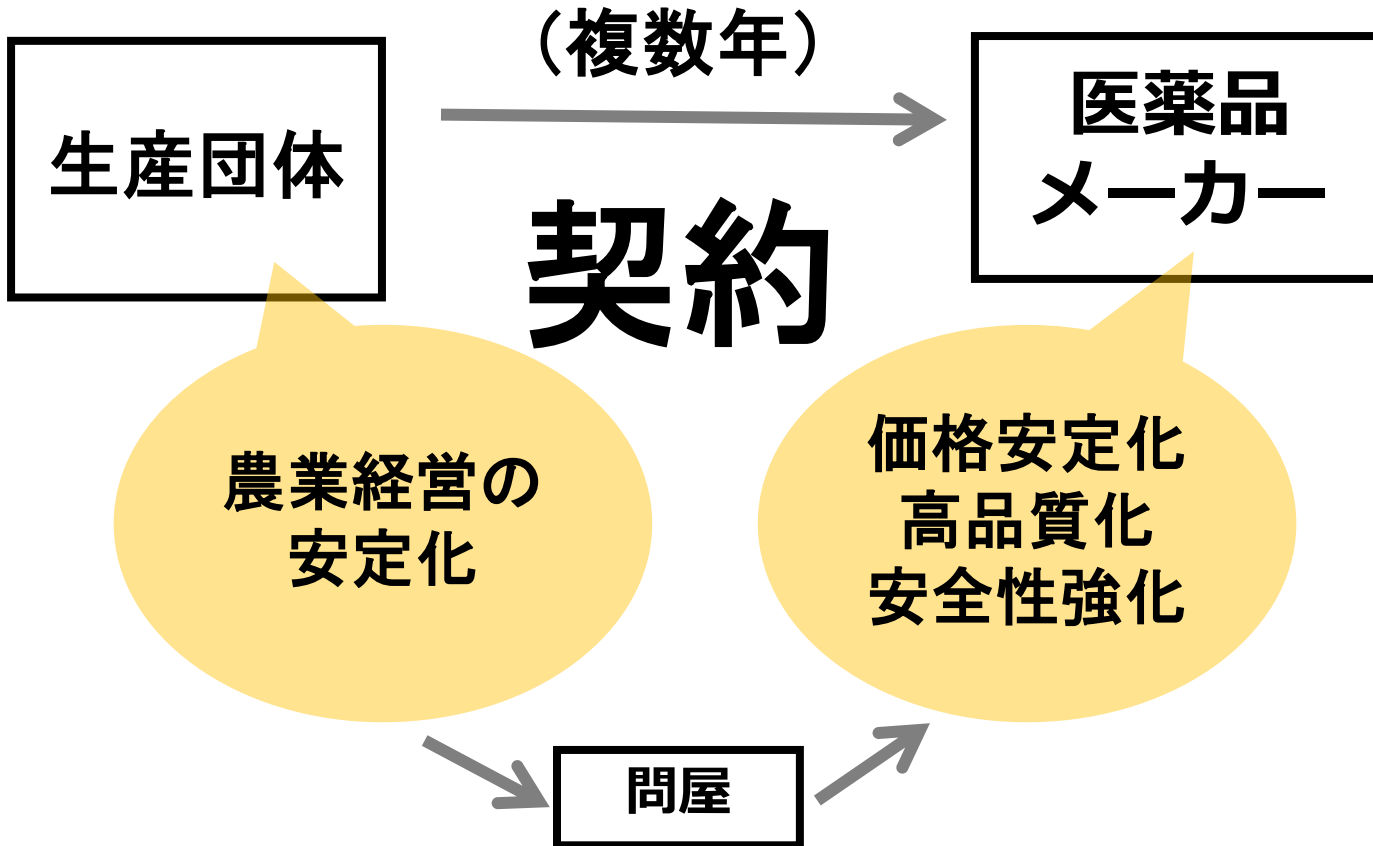
単位：t

その他（野生品など）



日本における生薬流通について

- ・日本国内には市場がない
- ・生産者と医薬品メーカーとの間で複数年の契約を結ぶ場合が多い



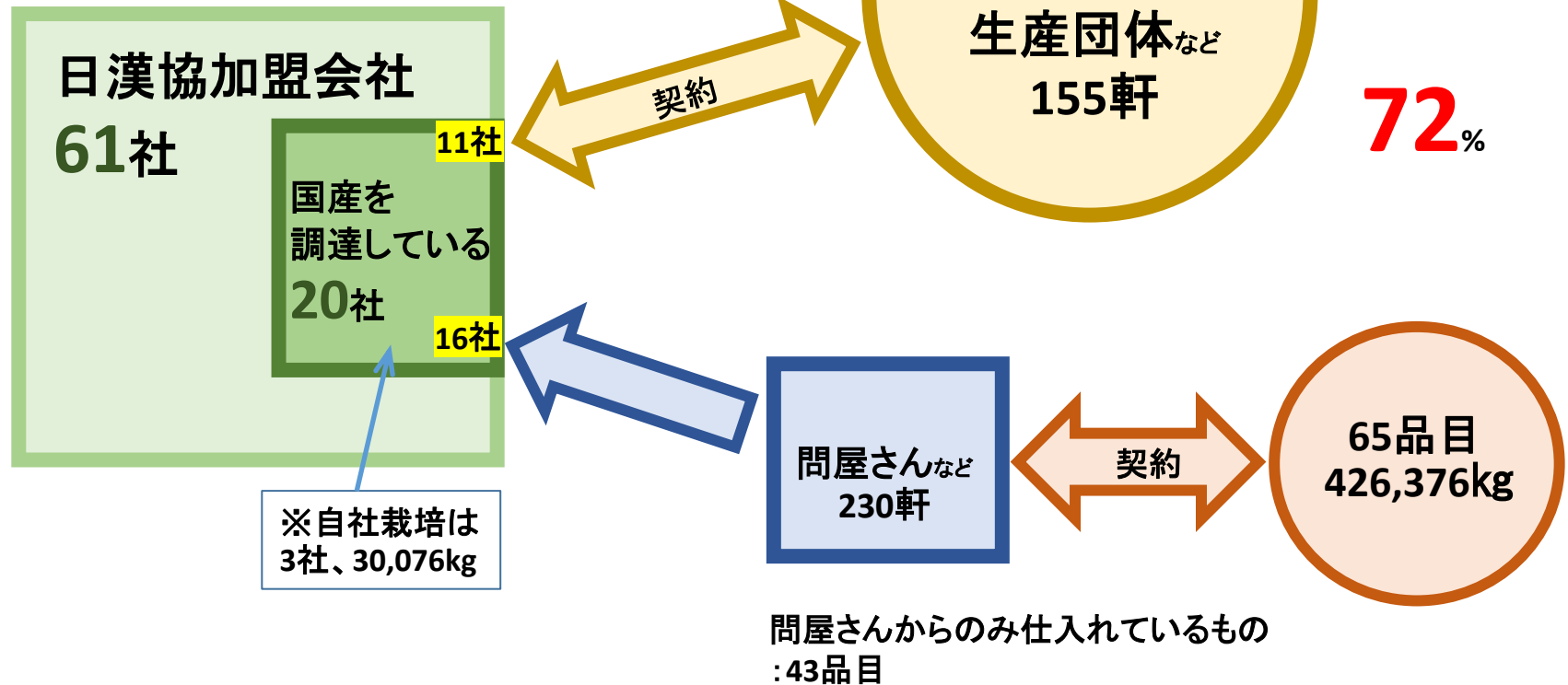
日本加盟会社の 生薬調達態様について

日本における生薬流通実態について

薬用作物の調達態様（2021年）

契約栽培のみで調達しているもの：15品目

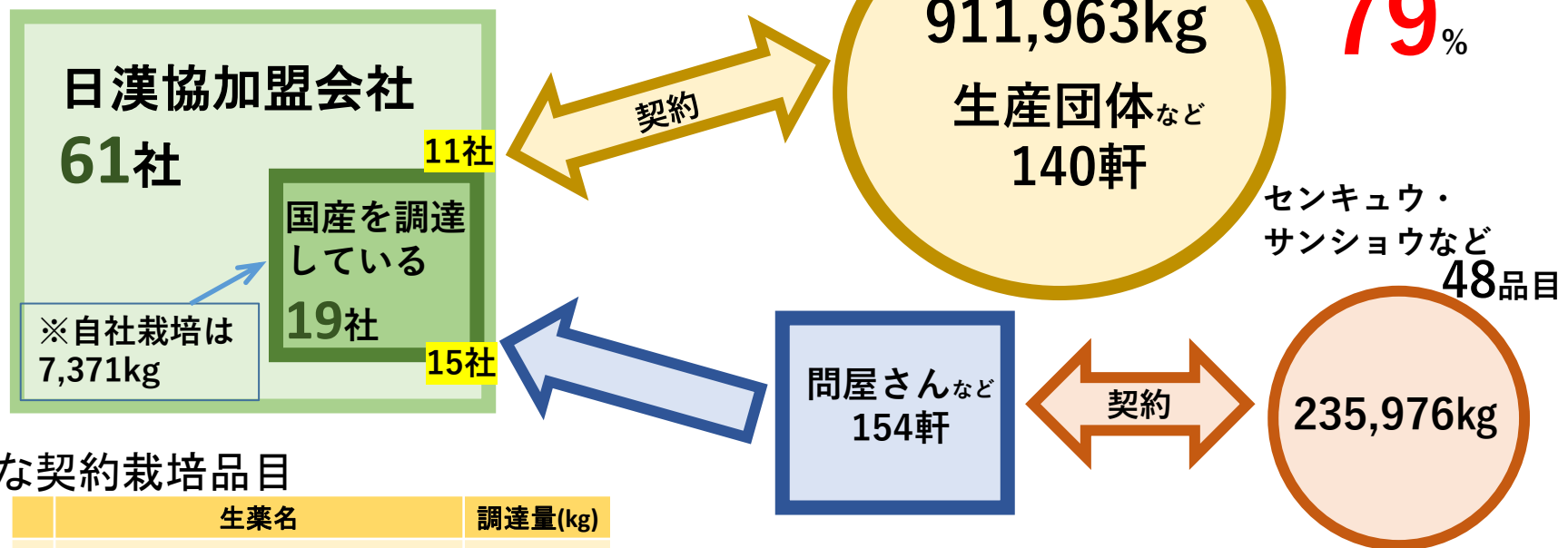
（81品目 約1,500トン）



薬用作物には市場がなく、何らかの契約により生産が行われている

薬用作物のうち農産物の調達態様(2021年)

(62品目約1,200トン)



主な契約栽培品目

	生薬名	調達量(kg)
1	センキュウ(川芎)	301,910
2	トウキ(当帰)	202,743
3	チンピ(陳皮)	146,529
4	オウギ(黄耆)	62,976
5	サンショウ(山椒)	42,629
6	キジツ(枳実)	34,975
7	シャクヤク(芍薬)	30,758
8	サイコ(柴胡)	13,321
9	ソヨウ(蘇葉)	12,958
10	ブシ(附子)	9,193
11	カノコソウ(吉草根)	8,959

主な問屋経由品目

	生薬名	数量(kg)
1	センキュウ(川芎)	29,064
2	サンショウ(山椒)	21,418
3	バクガ(麦芽)	19,904
4	ジュウヤク(十薬)	12,412
5	ガイヨウ(艾葉)	12,180
6	ビワヨウ(枇杷葉)	9,560
7	センブリ(当薬)	9,276

※コウベイ(粳米)、ショウバク(小麦)を除く

国内薬用作物生産拡大の意義と これまでの取り組み

国内での薬用作物生産拡大の意義

医薬品メーカー：

需要量の増加に対する原料調達リスクの軽減および国内自給率の向上
これまでの生産者様と取引関係を維持継続

農林水産省：

複合経営の一品目として経営の安定化や効率化に役立ち、
地域農業の振興を図るために必要な作物として重要な役割を果たしている
(薬用作物をめぐる事情より)

厚生労働省：

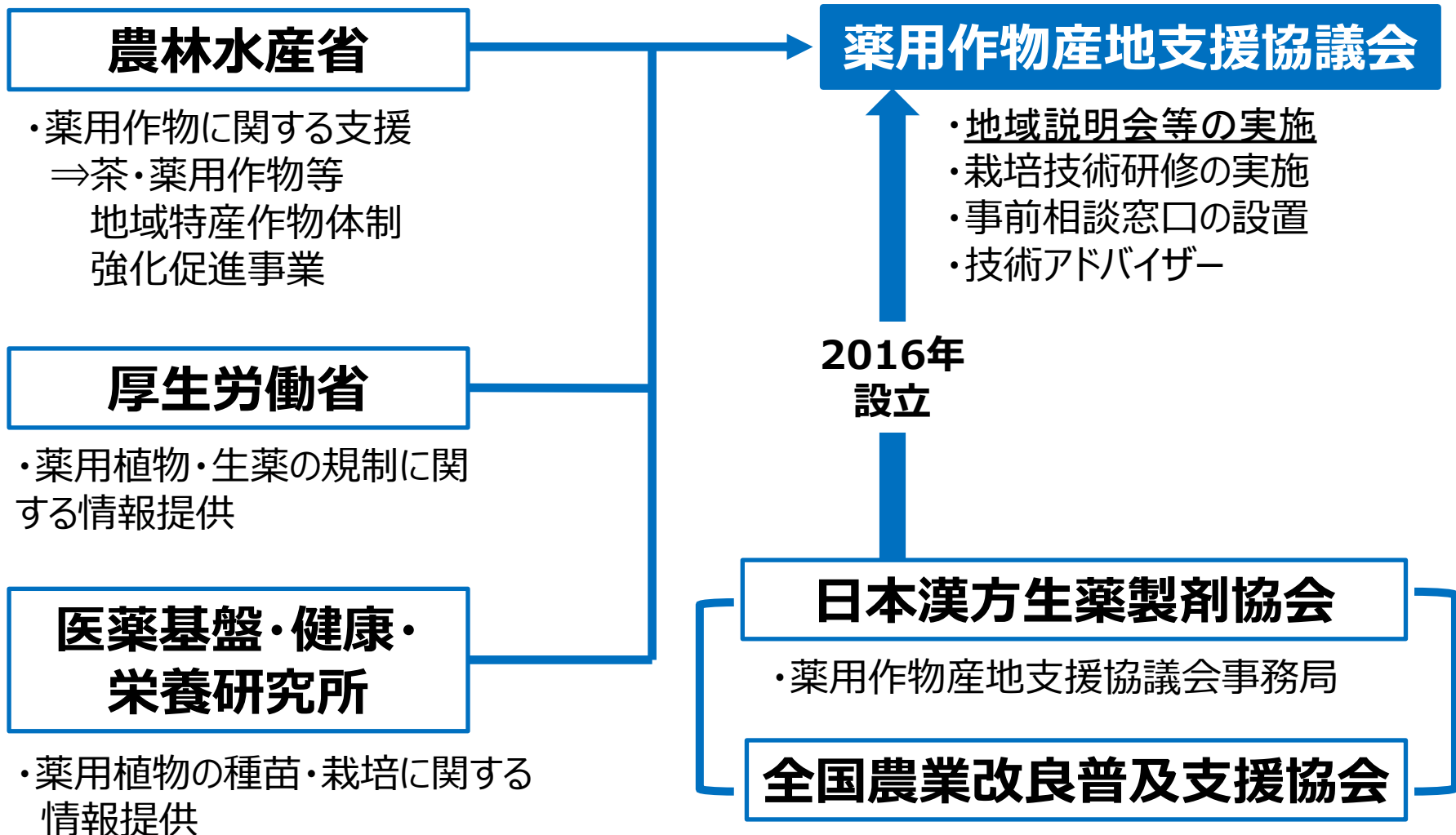
薬用作物・生薬調達先の複線化の推進による医薬品の安定供給



国内での薬用作物生産拡大継続は

必要不可欠 20

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のスキーム



マッチング概況

10年間のマッチング概況

2023年3月31日時点 日漢協調ベ(2023)

年度⇒	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
①折衝開始	45	36	15	12	8	1	2	7	9	1	136
②折衝不成立	40	33	14	12	6	1	0	5	2	0	113
③試作継続中	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
④取引開始	5	3	1	0	2	0	2	2	5	0	20
⑤取引継続中	3	3	1	0	1	0	2	0	5	0	15
⑥取引終了	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5

- ①折衝開始： 生産者と医薬品メーカーが具体的に話し合いを開始した件数
 ②折衝不成立： 折衝開始①したが、取引開始または試作開始に至らなかった件数
 ③試作継続中： 折衝開始①の後、試作に進み、2023年3月末時点で試作を継続中の件数（取引開始前）
 ④取引開始： 折衝開始①の後、生産者が医薬品メーカーと売買契約を締結した件数
 ⑤取引継続中： 上記④のうち、2023年3月末時点で取引継続中の件数
 ⑥取引終了： 取引開始したがその後終了した件数（上記④のうち2023年3月末時点で取引終了済）

不成立/取引終了との主要因

②折衝不成立

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産者側の生産規模が小さい
- ◆気候・環境条件

⑥取引終了

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産量が少なすぎる(生産規模拡大ができない)
- ◆採算ベースに乗らず、意欲低下
- ◆行政担当者の変更
- ◆技術不足(研究データ不足)

日漢協2030年調達計画について

漢方の将来ビジョン2040

～国民の健康と医療を担う～

実現に向けたロードマップ

2021年5月



日本漢方生薬製剤協会

日本漢方生薬製剤協会HP 漢方の将来ビジョン2040 <https://www.nikkankyo.org/action/action5.htm>

漢方の将来ビジョン2040

1. さらなるエビデンス集積と有用性の確立
2. 原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大
3. 原料生薬から最終製剤までの品質管理の高度化と製品品質保証の体制強化および医療用漢方製剤等の安定供給
4. ガイドライン策定に向けた医療用漢方製剤の新剤形開発・効能拡大に関する研究の推進
5. 一般用漢方製剤および生薬製剤の開発推進と情報提供体制の強化
6. コンプライアンス遵守の体制強化と信頼性向上
7. 自然環境の保全・生薬資源の保護など地球環境や生物多様性へ配慮した事業活動の推進と漢方製剤等の国際展開の推進
8. 産官学連携強化とアウトリーチ活動の充実

漢方の将来ビジョン2040 日本漢方生薬製剤協会

ビジョン2

原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大

原料生薬の必要量の確保に努めます

10年後のあるべき姿	対処すべき課題	2021	2025	2026	2030
<ul style="list-style-type: none"> 日中交流会の定期実施等により原料生薬の安定調達ができているほか、国内の気候・土壌に適した生薬の生産量が2015年比で約1.5倍になっている 	1 原料生薬の必要量確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶原料生薬の継続した使用量等実態把握 ▶国産生薬の生産量拡大 	2030年度までのロードマップ（ステップ1）			
		原料生薬の必要量確保 （原料生薬の栽培化の推進、産地複線化の情報共有、原料生薬の安定確保のための日中交流）			
		国産生薬の生産量拡大 （2015年度比約1.5倍）			
	2 原料生薬の栽培化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶国産生薬の栽培化拡大 ▶優先品目の栽培化支援 	原料生薬の栽培化の推進			
		野生品と栽培品の生産量等調査および栽培化候補品目検討		栽培化品目の提案と推進	
		生薬国内生産検討班による栽培化支援（トウキ・ミシマサイコ等）			
	3 原料生薬の安定確保のための日中交流 <ul style="list-style-type: none"> ▶中国医保商会を軸とした日中協力関係の構築、維持、強化 	毎年の交流会開催を通じた強固な協力関係の確立		相互利益をもたらすテーマを議論できる交流会の開催	

日漢協2030年調達計画

	生薬名（調査対象のみ：50音順）	①調達量実績調査			②調達量見込・計画調査									備考
		2015年度	2018年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
		実績(kg)	実績(kg)	実績(kg)	見込み(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	計画(kg)	
1	アマチャ（甘茶）	1,705	1,479	1,120	1,451	1,150	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
2	インチンコウ（茵陳蒿）	3,109	1,648	2,908	1,900	1,100	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	
3	ウコン（鬱金）	580	100	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
4	エイジツ（宮実）			17										
5	エンメイソウ（延命草）	788	1,980	1,280	1,620	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	
6	オウギ（黄耆）	30,960	21,865	62,976	53,637	62,000	69,000	74,000	82,000	87,000	91,000	91,000	91,000	
7	オウレン（黄連）	1,265	679	827	723	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
8	オトギリソウ（弟切草）	170	96	349	329	294	294	294	294	294	294	294	294	
9	ガイヨウ（艾葉）	11,163	11,552	13,875	19,708	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	
10	カノコソウ（苜蓿根）	15,142	10,906	14,861	13,809	12,573	13,451	18,381	23,352	24,051	24,051	24,051	24,061	
11	カンキョウ（乾姜）			2,296	1,119									
12	カンゾウ（甘草）		1,028	1,756	1,536									
13	キクカ（菊花）			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
14	キジツ（枳実）	23,825	34,587	37,492	40,557	40,177	42,177	44,177	46,177	47,177	48,177	48,177	48,177	
15	クコヨウ（枸杞葉）	2,062	789	1,848	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	
16	クロマメ（黒豆）	312	6,130	1,132	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	
17	ゲンノショウコ	1,231	524	1,006	1,841	1,520	1,620	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	
18	コウジン（紅参）	95	350		400	300	300	300		300	300	300	300	
19	コウジン（白芷）		3,520		1,186									
20	クワシロ	1,100		9,856		2,700		2,500			2,500			
21	クワシロ	23,243		9,193		38,000		40,000		41,000		43,000		
58	ベニサラサ	140	200	60	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
59	ボウフウ（防風）			276	257	350	350	350	350	350	350	350	350	
60	ポタンビ（牡丹皮）			70										
61	マタタビ（モクテンリョウ・木天蓼）	20	220											
62	マンケイシ（蔓荊子）			90	56	110	110	110	110	110	110	110	110	
63	モッコウ（木香）	8,055	3,346	3,790	2,228	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
64	ヤクモソウ（益母草）		2,346	1,978	2,148	2,300	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	
65	レンセンソウ（連銭草）	700	402	300	246	240	240	240	240	240	240	240	240	
66	ワキョウカツ（和光活）	1,823	523	2,517	3,900	4,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	
67	アカマツ葉（赤松葉）※栽培品			7,286	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	
68	品目未設定													
69	品目未設定													
70	合計	1,157,951	1,305,905	1,168,273	1,233,311	1,271,640	1,320,908	1,400,078	1,489,209	1,543,948	1,643,808	1,643,548	1,744,118	
71	2015年との対比（倍）		1.13	1.01	1.07	1.10	1.14	1.21	1.29	1.33	1.42	1.42	1.51	

各年度ごと、品目ごとの目標設定は今後立案予定（2030年に100トンを達成）

重点品目の設定：8品目

品目		使用量 (kg)	調達量 (kg)	調達計画 (会社数)	契約栽培 (会社数)	事業として開始済の施策
		1トン以上	1トン以上	2社以上	2社以上	
1	センキュウ(川芎)	413,363	415,137	8	2	
2	トウキ(当帰)	191,929	223,868	7	4	
3	サンショウ(山椒)	59,114	78,157	9	2	
4	ブシ(附子)	47,740	16,343	2	2	
5	シャクヤク(芍薬)	42,660	43,382	9	5	種苗の増殖実証(長野・5ha相当分)2024年秋配布
6	サイコ(柴胡)	19,444	17,252	4	4	
7	カノコソウ(吉草根)	12,331	13,636	4	3	種苗の増殖実証(長野・50a相当分)2023年秋配布
8	ガイヨウ(艾葉)	8,913	12,197	7	2	

農地で栽培されている品目のうち、国内産の使用量、調達量が多いもの。
 複数の会社が国内産の調達および契約栽培を行っている品目
 ※2社以上が契約栽培を行っている品目はこの8品目しかない。

【新たな作物又は品種の現地適応性試験】

現地適応性試験ほ場（重点品目の種苗増殖実証）

カノコソウ・シャクヤクについて実施中

品目	面積	2022			2023												2024														
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
カノコソウ (長野県安曇野市)	13a	○	—										○	33,000本															15万本		
		定植	(発芽)										(摘花)	収穫・配布																	
シャクヤク (長野県安曇野市)	18a	○	—																									○			
		定植	(発芽)																						(発芽)			収穫・配布			

- ・より実践的な形で種苗増殖の圃場を運営し、増殖効率・生育状況・作業効率を調査する。
(芍薬18a、カノコソウ13a)
- ・実証ほ場運営の結果、生産物として種苗が生産されるため、それを全国の希望者に配布する(試作程度の量)。
- ・種苗増殖の実証のための事業であり、試作する方への細かな栽培指導は出来ないが、栽培方法については「地域説明会」「動画(Youtube)」などで紹介する。

現地適応性試験圃場の状態

2023年実施：長野県安曇野市 安曇野みらい農園



カノコソウ4月



カノコソウ6月



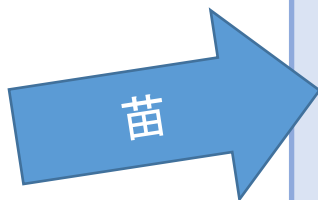
シャクヤク4月



シャクヤク6月

カノコソウは2023年10月に収穫、データ収集を行い、生産物(=苗)を配布する。
シャクヤクは2024年10月に収穫～配布。

カノコソウの種苗配布について



カノコソウは製品にする部位、苗にする部位が
同じです。

苗の配布～定植までの流れ



カノコソウを作ってみませんか

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ

よくあるご質問

アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087

お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム

イベント

作ってみませんか

産地化事例

マッチング支援

技術アドバイザー

分析調査

調べる

ホーム >> 作ってみませんか >> カノコソウを作ってみませんか？

カノコソウを作ってみませんか？

～試作栽培・生産者募集～

カノコソウはオミナエシ科の一年草で、冷涼な地での栽培が適しています。根と根茎は生薬吉草根（キッソウコン）として用いられ、鎮静作用や睡眠の改善作用のほか、身体をリラックスさせる効果があるといわれています。現在、国内での使用量は年間約20トンで、その約半分が国内産です。日漢協ではこのカノコソウを重点品目の一つとして選定し、生産希望者を募りつつ漢方薬メーカーとのマッチングを進めています。

カノコソウがどんな作物か、試しに作ってみたいという方に、少量の苗を無償提供します（送料は応募者でご負担いただきます）。

2023年8月2日開催「重点品目説明会」でカノコソウを取り上げます

説明会へのご参加は [こちら](#) からぜひお申し込みください

2023年度応募フォーム

下記の応募条件等をご一読のうえ、ご応募ください



カノコソウ基本データ：

生薬名「吉草根」（キッソウコン）

2020年度使用量 18,732kg（うち47%にあたる8,904kgが国内産）※2022年日漢協調べ

2021年度国内調達量 14,861kg（国内で18番目に調達が多い生薬）※2022年日漢協調べ

主な栽培地 北海道・岩手県・奈良県など ※2021年日本特産農産物協会調べ

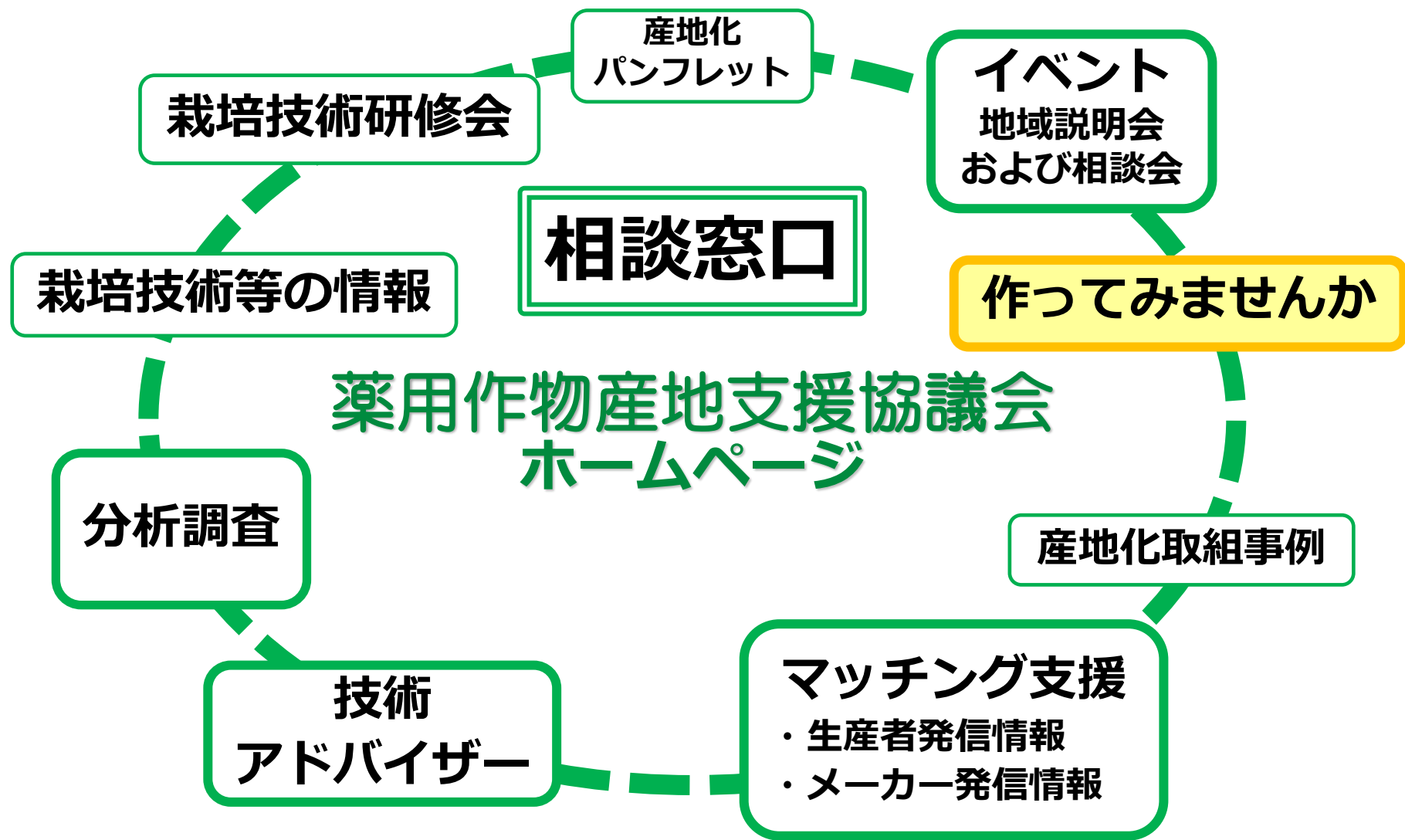
カノコソウとシャクヤクの配布予定

・令和6年(2024年)秋にカノコソウ・シャクヤクの苗を配布する予定です

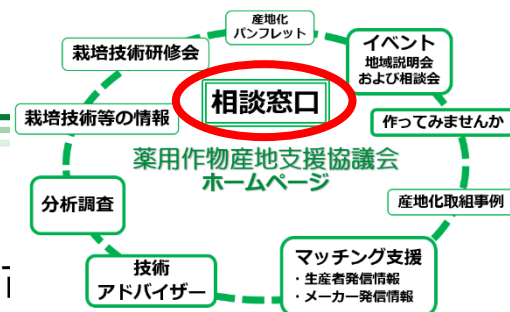
品目	募集開始	配布時期	配布数量など	対象
カノコソウ	令和6年 (2024年) 6月頃	令和6年 (2024年) 10月頃	一人100本程度 合計10,000本程度を想定	全国
シャクヤク	令和6年 (2024年) 4月頃	令和6年 (2024年) 9月頃	一人の量は要相談 合計10万本程度を想定	全国

詳細は薬産協ホームページで公開します

薬用作物に関する情報を集めたホームページ



相談窓口



産地化を希望する生産者等からの相談・質問に対応する。
お問い合わせフォームのほか、メール、電話、FAXにて対応

お問い合わせ **よくあるご質問** **アクセス**

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

[ホーム](#) | [組織概要](#) | [イベント情報](#) | [産地化事例](#) | [売買支援](#) | [技術アドバイザー](#) | [分析調査](#) | [調べる](#)

ホーム >> お問い合わせ

生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談

お問い合わせフォーム

よくあるご質問

薬用作物関係機関 連絡先

E-mail又はFAXでも受け付けています
☎ 03-6284-2534
✉ soudan@yakusankyo-n.org

用紙のダウンロード

📄 Excel形式 📄 PDF形式

現在、当協議会では新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、交代で在宅勤務（リモートワーク）を実施しています。
お問い合わせ等につきましては、可能な限り【お問い合わせフォーム】をご利用くださいますよう、お願いいたします。

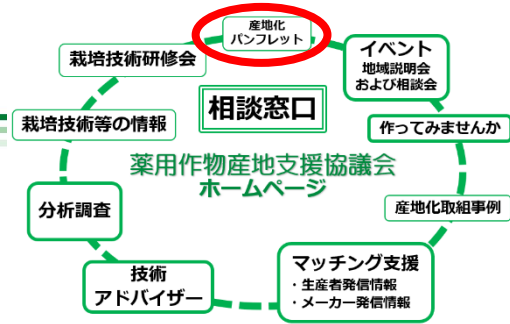
生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談は、お問い合わせフォームから必要事項を入力し、送信してください。
・TEL (03-6264-8087) ・FAX (03-6284-2534)
こちらからのお問い合わせも受付しております。
FAXの場合は、用紙をダウンロードの上お問い合わせ項目をご記入いただき、送信してください。

- ・お返事を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。
- ・お問い合わせの内容によってはお答えできない場合もありますことをご了承願います。
- ・個人情報は日漢協プライバシーポリシーに従い適切に管理いたします。

現在、多数のお問い合わせを頂戴しております。
ご相談には順次対応しておりますが、ご回答を差し上げるまでに若干のお時間を頂戴しております。何卒ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

連絡先：薬用作物産地支援協議会 日漢協事務局
担当 飯田
Tel : 03-6264-8087
Email:soudan@yakusankyo-n.org

産地化パンフレット



対象：新規に薬用作物を取り組むことを検討している生産者。

内容：薬用作物に取り組む上での、注意すべき点や情報収集の方法について一般的な流れを紹介する。

GUIDE 1 なぜ薬用作物に取り組むといいのか？

薬用作物の栽培を始めるメリットをお伝えします。

「薬方」の原料となる「生薬」のうち、**田畑などで栽培されるものを「薬用作物」と呼びます。**これらを原料とする漢方・生薬製剤（生薬を含む）の生産金額は、医薬品市場全体の約2.8%ですが、過去5年間で約21.9%増加しており、需要増がうかがえます^(※1)。

また、医薬品原料として使用される生薬の割合は、中国産が全体の約77%、国産は約11%です^(※2)。中国産生薬の価格が上昇傾向にあることから、国内での薬用作物生産の需要が高まっています。

安定した収入源になるほか、地域活性化などの効果も

生薬は市場が存在しないため、生産物については、医薬品メーカー（実需者）に全て買い上げてもらう契約を結ぶことが一般的です。品質や安全性、数量などの面で一定の基準を満たす必要がありますが、**複数年の契約を結べば、安定した収入を得ることができる**のは、生産者にとって大きなメリットといえるでしょう。

また、近隣の生産者が互いに協力して薬用作物を栽培することで、農業振興や地域活性化といった効果が得られた事例も少なくありません。このほか、耕作放棄地の解消やソーラーパネル下の活用などの目的で薬用作物の栽培を始めるケースもあり、**取り組み次第で多様なメリットがあります。**

※1 出典：厚生労働省「医薬品市場動向調査報告書(2018)」 ※2 出典：日本特産農産物協会「原料生薬産地実態調査報告書(2018)」

GUIDE 3 新規で薬用作物を始めよう

新規で薬用作物の栽培に取り組む場合、次のような流れになります。

STEP 1 生産者同士で組織化する
 収穫までには時間を要し、使える農機や機械も少ない薬用作物の栽培。地域で仲間を集め、組織を固めて、情報収集や労力の分散などに役立つ。定期的な情報交換会、技術習得の研修会なども、人数が多いほうが聞きやすい。

STEP 2 地方行政機関に相談
 地域の活性化や農村の振興といった効果につながるためには、市町村の農林振興課などとコンタクトを。助成金や補助金を扱う都道府県や地方農政局への紹介など、経済的な支援につながる可能性もあり得る。

STEP 3 品目・産地を選定する
 栽培できる品目は気候や土壌の特性に大きく影響を受ける。都道府県の行政・研究機関などに問い合わせて、近隣地域の成功事例を調べることが効率的だ。また、実需者である医薬品メーカーの需要も踏まえておきたい。

GUIDE 4 薬用作物のあるある

説明会などでよく聞かれる質問と情報の参照元をまとめました。

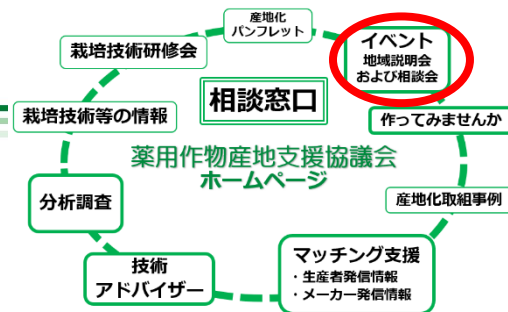
Q① 一般作物と薬用作物の違いは？
 A 医薬品の原料となる生薬（薬用作物）は、「日本薬局方」や「日本薬局方外生薬規格」の品質規格をクリアする必要があります。これは、厚生労働省や国立医薬品食品衛生研究所のHPに掲載されています。さらに、医薬品メーカーによっては独自の基準を設けている場合もあります。

Q② 生産する品目の選び方は？
 A 日本特産農産物協会の統計資料や、都道府県の行政・研究機関に問い合わせ、近隣で栽培している薬用作物を探るのが効果的です。例えば、これらの中から、すでに栽培している農作物と農作業の時期がかからないものを選び、負担が少なくて始められます。

Q③ 耕作放棄地で栽培できる？
 A もっとも問題になるのは、除草です。薬用作物に使用できる除草剤は少なく、除草剤が使えない作物もあります。特に中山間地での栽培を考えている場合は、中・大型機械を使用することができないので、栽培が困難になってしまうことに留意してください。

地域説明会および相談会

産地化を目指す地域(関係者)と実需者との情報の交換・共有を図るための説明会



2023年8月2日 薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ)および相談会

- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・質疑応答

2023年9月5日 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

- ・薬用作物の産地化までの道のり 【日本漢方生薬製剤協会】
- ・薬用作物を対象とした補助事業等について 【農林水産省】
- ・漢方製剤の現状等について(薬局方、薬価、医薬品原料、食薬区分等) 【厚生労働省】
- ・薬用植物資源研究センターからの資源情報提供 【医薬健栄研・薬用植物資源研究センター】
- ・国内生薬の栽培現場を取り巻く環境について 【地域特産物マイスター】
- ・質疑応答

2023年12月5・6日 [栽培技術研修会 合同開催]

薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ・シャクヤク)および相談会

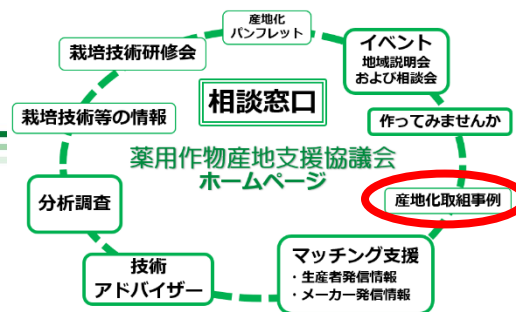
1日目:現地研修 13:00~16:00(現地参加のみ可)

2日目:薬用作物に係る説明会

- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・シャクヤク栽培の実際
- ・質疑応答
- ・情報交換会

産地化取組事例

実際に産地化に成功している、または成功に向けて取り組んでいる生産団体の様子・経緯を事例紹介としてまとめている。



産地化取組事例紹介

過去の地域説明会におきまして、薬用作物の産地化に取り組まれている生産団体の事例を知りたい、との要望が多く寄せられました。平成30年度よりその声にお応えし、地域説明会におきまして各地域での産地化取組事例を紹介しております。その内容を掲載いたします。ぜひご参照ください。

令和4年度 事例紹介

事例先	説明会 開催地	閲覧
信州人蔘産地の取組み/JA佐久浅間信州人蔘部会 《長野県》	東北（福島県）	事例を見る
オタネニンジンの生産～福島県～/清水薬草有限会社 《福島県》	東北（福島県）	事例を見る
農業×観光×販売 ポタンと香州人蔘の農業歴史継承と今後の農業ビジネス/由志園アグリファーム株式会社 《島根県》	東北（福島県）	事例を見る
長野県における薬草の産地化への取り組み状況について/長野県農政課 園芸畜産課 野菜・特産係 《長野県》	関東・北陸（長野県）	事例を見る
採取農業でノウフクの取り組み/認定特定非営利活動法人UNE 《新潟県》	関東・北陸（長野県）	事例を見る
三重県鈴鹿地域における薬用作物の取組/三重県農業研究所 花植木研究課 《三重県》	近畿（奈良県）	事例を見る
宇陀市薬草協議会の役割と大和当帰の栽培事例/宇陀市薬草協議会 《奈良県》	近畿（奈良県）	事例を見る
佐藤薬品工業の取り組み/佐藤薬品工業株式会社 和漢薬研究所 《奈良県》	近畿（奈良県）	事例を見る

マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）とのマッチングの場

マッチング支援

薬用作物は「市場」が存在せず、生産者と漢方薬メーカー（実需者）との間で「全量契約」する場合があります。そのため本サイトではメーカーと生産団体様のマッチング支援を行うことを目的とします。

マッチング支援の流れ



【生産者発信情報】登録申込フォームはこちら

【生産者発信情報】

- ・販売を希望する薬用作物がある方
- ・薬用作物生産を計画している方

※計画が具体的でない場合はまず相談窓口にお問い合わせください。

【メーカー発信情報】（準備中）

- ・メーカーが購入を希望する薬用作物
- ・メーカーが新規生産地創出を希望する品目と条件

生産団体様向け・マッチング支援ご利用方法

生産団体様には、次の2つの方法でご利用いただけます。

(1) 「生産者発信情報」に登録する

→情報登録フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。当協議会にて審査後、ホームページに掲載いたします。

(2) 「メーカー発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する

「メーカー発信情報」には、〈メーカーが購入を希望する薬用作物の情報〉を掲示していますので、ご覧ください。興味のある掲載情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。

メーカー向け・マッチング支援ご利用方法

メーカーには、次の方法でご利用いただけます。日漢協会会員会社以外でも応募できます。

(1) 「メーカー発信情報」に登録する

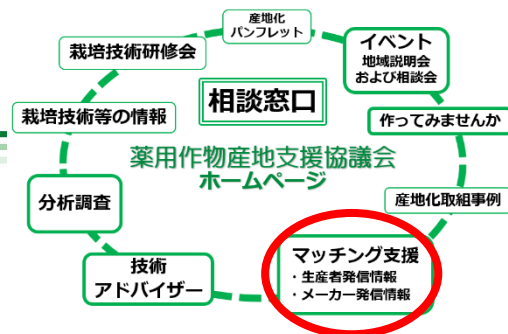
→登録ご希望の場合は、当協議会事務局までメールにてお問い合わせください。

✉ soudan@yakusankyo-n.org

（件名「メーカー発信情報掲載希望」をお願いします）

(2) 「生産者発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する

→「生産者発信情報」には、〈生産団体様が販売または今後生産を希望する薬用作物の情報〉を掲示していますので、ご覧ください。興味のある掲載情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。



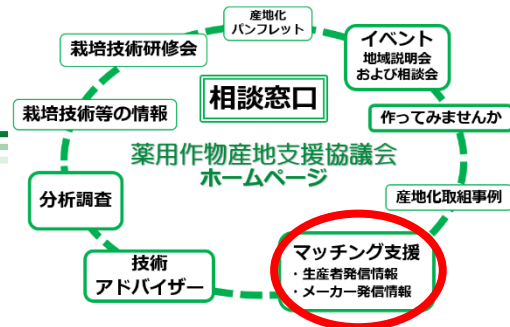
国内において薬用作物には市場が無い。
そこで、医薬品メーカーと生産団体様との売買成立を支援する。

マッチング支援では次のような情報をご利用いただけます。

- ・生産団体様が販売を希望する薬用作物の情報
- ・メーカーが購入を希望する薬用作物の情報

マッチング支援（生産者発信情報）

生産団体様が販売を希望する生薬の情報を掲載。



生産者発信情報



医薬品メーカー側は情報を閲覧し、取引希望の場合には連絡を入れる。

※生産団体様は、

- ①今年度納品可能（50kg以上）
- ②今年度納品可能（50kg未満）
- ③今後薬用作物の生産を希望の3種類から選んで応募できる。

ご利用の流れ（生産者向け）

このページの下部にある「[【生産者発信情報】登録申込フォーム](#)」にて登録希望をお送りください。当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

ご利用の流れ（メーカー向け）

1. 「生産者発信情報一覧はこちら」をクリックして掲載案件一覧をご覧ください。
購入を希望する掲載情報から「取引を希望する」をクリックしてください。
2. 入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。
3. 事務局では毎月2回（15日と末日）を締め日とし、応募を取りまとめます。
○事務局から応募したメーカーへ、当該案件の【生産者様の連絡先】をお知らせします。
○事務局から生産者様へは、応募した【メーカーの会社名】をお知らせし、2週間以内に連絡がある旨をご案内します。
4. メーカーと生産者様とで直接交渉をおこなっていただきます。
○交渉開始となったメーカーには、毎年度末に進捗状況をご報告いただきます。
5. 交渉がまとまった場合、売買・試作栽培等の契約の成立となります。

【生産者発信情報】登録申込フォーム

栽培状況によって登録申込フォームが異なりますので、①、②、③のいずれか該当するものを選んでお申し込みください。

①今年度納品可能（乾燥重量【50kg以上】提供可能）な方はこちら

①申込書 (Excel) ①申込書 (PDF)

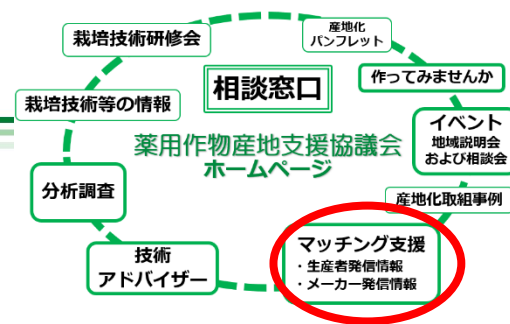
②今年度納品可能（乾燥重量【50kg未満】提供可能）な方はこちら

②申込書 (Excel) ②申込書 (PDF)

③今後薬用作物の生産をお考えの方はこちら

③申込書 (Excel) ③申込書 (PDF)

マッチング支援（メーカー発信情報）



医薬品メーカー側の取引希望条件を掲載する。（生薬品目毎）
合致する場合には、生産概況をフォームに記入し、お申込みを。

メーカー発信情報



情報を探す

フォームから連絡
(事務局が仲介)

対面で交渉

マッチング成立

- 1) 生産物の購入希望
(今年度中の納入を希望)
- 2) 生産物の購入希望
(来年度以降の納入を希望)
- 3) 新規生産地づくり

1) 生産物の購入希望（今年度中の納入を希望）

案件番号（取引ID）	品目	詳細
231-059-001	インヨウカク	詳細を見る
231-040-006	オウレン	詳細を見る
231-040-001	カノコソウ(a)	詳細を見る
231-050-002	カノコソウ(b)	詳細を見る
231-045-002	サンショウ(a)	詳細を見る
231-050-003	サンショウ(b)	詳細を見る
231-059-003	ショウ	詳細を見る
231-050-001	ゼネガ	詳細を見る
231-040-002	ニンドウ	詳細を見る
231-040-004	ホウイ	詳細を見る
231-059-002	ホウフウ	詳細を見る
231-045-001	ミシマサイコ	詳細を見る
231-040-005	モクツウ	詳細を見る
231-040-003	モッコウ	詳細を見る

2) 生産物の購入希望（来年度以降の納入を希望・技術指導なし）

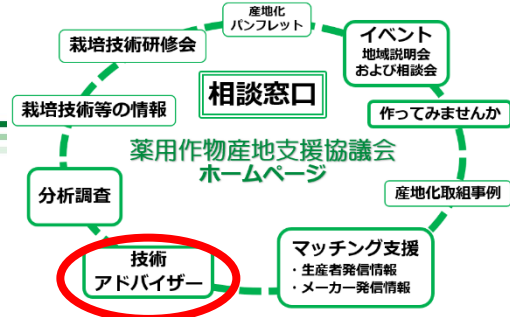
案件番号（取引ID）	品目	詳細
232-059-001	インヨウカク	詳細を見る
232-040-001	カノコソウ(a)	詳細を見る
232-050-002	カノコソウ(b)	詳細を見る
232-059-003	ショウ	詳細を見る
232-050-001	ゼネガ	詳細を見る
232-059-002	ホウフウ	詳細を見る
232-045-001	ミシマサイコ	詳細を見る

3) 新規生産地づくり

案件番号（取引ID）	品目	詳細
233-040-001	カノコソウ	詳細を見る

技術アドバイザー

栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するために
 専門技術指導者を現地圃に派遣し、アドバイスを行う。
 基本的に無償。 売り先（取引先）の紹介は不可。



薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ | よくあるご質問 | アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
 お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | イベント | 作ってみませんか | 産地化事例 | マッチング支援 | **技術アドバイザー** | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 技術アドバイザー

技術アドバイザー

本事業は、現在、医薬品の原料生薬となる薬用作物の栽培化に取り組まれている生産団体様に対して、薬用作物の専門技術指導者を派遣して、栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するためにお手伝い（アドバイス）をさせていただきます。

2023（令和5）年度の申込受付中

技術アドバイザー派遣の流れ



フォームから連絡



スケジュール調整



ご連絡



アドバイザー派遣

技術アドバイザー派遣申込フォーム

E-mail又はFAXでも受け付けています

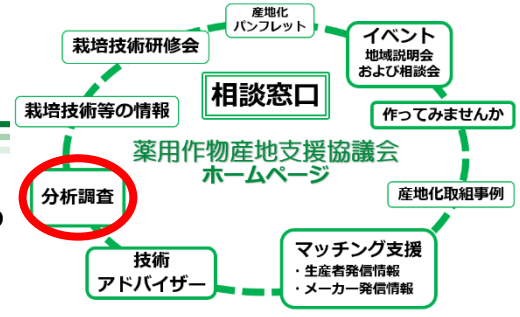
☎ 03-6284-2534

✉ soudan@yakusankyo-n.org

📄 Excel形式 📄 PDF形式

技術アドバイザー紹介

分析調査



生産者様においては、試作生産物が日本薬局方の要件をクリアしているかを確認することができます。

※ご要望を全てお受けできる訳ではございません

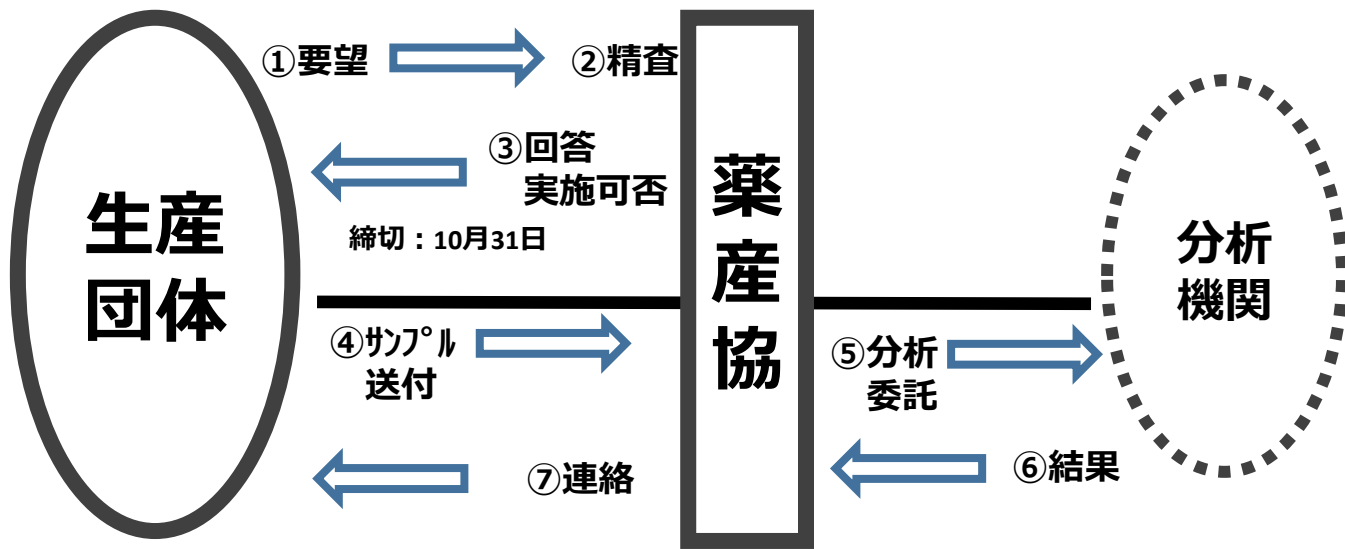
対象品目：漢方・生薬製剤の原料となる、「日本薬局方収載品目」および「局外生薬規格」の範囲
日本国内で生産された薬用作物に限ります

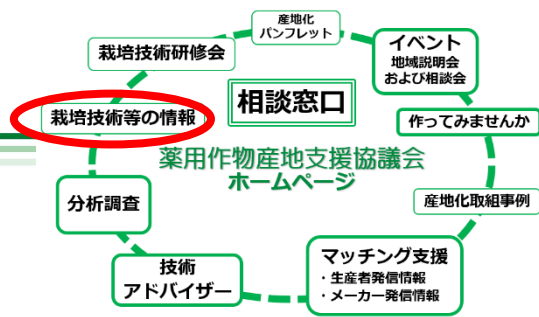
対象者：法人・農協の部会・農業者で組織する団体等 ※個人での応募は対象外

当協議会は、試作品がどのような生産物となるのかを調査し、今後の支援対策に活用いたします。

ホームページで応募受付中

令和5年度は、10月31日締め切り！！





薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087
 お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 調べる

調べる

生薬について

- 薬用作物名生薬名対比表
- 生薬（薬用作物）についての概略

生薬の規格（日本薬局方で規定される内容）

- 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ（外部リンク）
- 国立医薬品食品衛生研究所「日本薬局方と関連情報」（外部リンク）
- 厚生労働省「日本薬局方外生薬規格2018」（外部リンク）

日薬協が使用する生薬の取引状況

- 日本漢方生薬製剤協会会員会社が使用している植物性生薬一覧表(使用量順)
- 日中生薬価格調査結果(日本実績あり)
- 日中生薬価格調査結果(日本実績なし)

農林水産省関連

- 農林水産省補助事業で作成された各地域での栽培マニュアル
- 農林水産省補助事業による農業機械等の改良事例(26年～29年)
- 薬用作物の産地化事例集（平成31年2月）（外部リンク）
- 農林水産省主催 薬用作物（生薬）の産地化に向けたシンポジウム 資料（外部リンク）

情報提供

- ・活用できる国の支援策、収入保険制度等
- ・日本薬局方、食薬区分、薬価等
- ・薬用植物資源の確保、栽培技術の確立研究等

薬用作物産地支援

検索



内閣官房の新しい資本主義実現会議より 成長戦略等のフォローアップが閣議決定されました。

成長戦略等のフォローアップ

令和5年6月16日

関連事項
掲載項目

目次

趣旨	1
I. 「人への投資・構造的賃上げと三位一体の労働市場改革の指針」関連のフォローアップ	1
II. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ	2
1. 「GX」関連	2
2. 「DX」関連	3
3. 「科学技術・イノベーション」関連	5
III. 「社会的課題を解決する経済社会システムの構築」関連のフォローアップ	9
IV. 「経済社会の多極化」関連のフォローアップ	10
1. 「デジタル田園都市国家構想の推進」関連	10
2. 「企業の海外ビジネス投資の促進」関連	15
V. 「日本の魅力を活かしたインパウンドの促進」関連のフォローアップ	17
VI. 「個別分野の取組」関連のフォローアップ	20
1. 「宇宙」関連	20
2. 「海洋」関連	20
3. 「対外経済連携の促進」関連	21

Ⅱ. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ

3. 「科学技術・イノベーション」関連

(4) 再生・細胞医療・遺伝子治療等 (医療・医薬品) P7

- ・漢方について、生薬の国内生産を支援するとともに、国内産業の競争力強化に資する国際標準化を着実に進める。

昨年同様の記載ですが、「着実に」が新たに追記されています

ご清聴ありがとうございました